

令和4年 4月 29日

瀬戸内市議会議員長

廣田 均 様

瀬戸内市議会議員 河本 裕志

政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期 間	令和4年 4月 22日 ～ 令和4年 4月 23日
研修会名	自治体議員防災研修 WEB研修
開催場所	防災士研修センター ON LINE
研修目的・ 内容	目的①：災害時の議会・議員の役割や災害対策における議会の重要性を学ぶ。 4月22日（金）研修1日目 ① 講義 「災害と議会・議員の役割」 講師：令和防災研究所 所長（明治大学名誉教授）青山 侑氏 ○災害時に議員は、積極的に行政と関わるのが大切である。 ○東京五輪、コロナ禍での危機管理とLGBTQへの世界的な流れ。 ○過去の災害事例から行政・議員の役割などを学ぶ。 ② 講義「災害と避難」 講師：令和防災研究所 アカデミックフェロー （東京大学大学院工学系研究科教授）廣井 悠氏 ○東日本大震災と避難。 ○避難行動の科学。『命を守るための行動』の重要性と避難の失敗例から、避難行動の3大論点を学ぶ。 ○「逃げやすい」まちづくり。『災害対策に特効薬なし』 ・地域、災害により正しい避難のあり方は様々だから、避難行動は難しい。 ・傾向と対策を練り、解決策をみんなで考え、確かめる事の大切さを学ぶ。



	<p>4月23日(土)研修2日目</p> <p>① 講義「自然災害と地域の安全」 講師：令和防災研究所 アカデミックフェロー (東京大学生産技術研究所教授) 加藤 孝明氏</p> <p>○災害と社会をどう見るべきか、最近の災害から適切に学ぶ。 ○これからの時代に備える基本として、大災害の時代、課題山積の時代を 防災もまちづくりとして捉え、地域課題として総合的に考えることを学ぶ。</p> <p>② 講義「災害と危機管理」 講師：令和防災研究所 アカデミックフェロー (国士舘大学 防災・救急救助総合研究所准教授) 中林 啓修氏</p> <p>○「危機」の3つの要件として、①脅威認識②緊急性③不確実性があり、 危機管理の概念と危機対応マネジメントの重要性を学ぶ。 ○危機対応では、中長期的なゴールを定め、対外的に説明しながら適切な 優先順位で選択することが必要であり、危機対応のマネジメントでは、対 応に関わる全ての関係者が、自身が行うべき活動の「次元」を把握するこ とが重要であると学んだ。</p>
<p>所 感</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害には種類があり、地域によってそのリスクも変わる。 ・ハザードマップ、避難所もその種類ごとに掲載が必要であり、地域ごとの災害リスクを明確にする必要がある。 ・「自助」「共助」「公助」といっても一番大切なのは、自助であり、自分の命は自分で守る。そこから始めて、共助へと助け合える。 ・日頃から、防災を意識したまちづくり、制度づくりを考えて、命を守れる、住みやすい瀬戸内市にしていこうと議員として思った。